

第二回 マンホールナイト

●企画者の清水から

本日はお忙しい中、第二回マンホールナイトにお越しいただきありがとうございます。
うれしいことにマンホールナイトもついに第二回！たなばたイヴの夜は輝く蓋を数えましょう！
今回も発表者の皆様方、また、くしゃまんべマスターの竹内さんに非常に多くのご協力を頂きました。この場を借りて御礼申し上げます。

●進行予定表

■第一部

司会：清水貴司

18:30 開場

↓

19:30 研究発表【情報肥大化社会における情報整理技術】：白浜公平研究員

19:45 質疑応答

↓

19:50 研究発表【路上の芸術 干支蓋】発表者：垣下嘉徳研究員

20:05 質疑応答

↓

20:10 研究発表【燈孔見聞録】発表者：二上智之研究員

20:25 質疑応答

↓

20:30 研究発表【暗渠と蓋】発表者：河岸唱平研究員

20:45 質疑応答

↓

20:50 休憩 (マンホール DJ)

↓

■第二部

↓

21:10 研究発表【被災地の蓋を訪ねて】発表者：森本庄治研究員

21:25 質疑応答

↓

21:30 研究発表【マンホールマップと私】発表者：木村桂研究員

21:45 質疑応答

↓

21:50 マンホールの蓋 座談会
(来場の皆様、研究者皆様で)

↓

24:00 終了

●各講演概要

(1)白浜公平研究員【情報肥大化社会における情報整理技術】

デジタルカメラとインターネットの普及により爆発的に増えている情報源。とりわけ Twitter では新しい情報が毎日滝のように流れています。その反面、気づかずに流れ去ってゆく情報、気づいても後から再度探し出すのが困難な情報も増えています。そのような情報肥大化社会において、効率よく必要な情報を取り出すにはどうしたらよいのか。自分で撮影した写真の整理方法からネット上の情報の取り扱い方法まで、講演者の取り組みと経験から得た結論とをご紹介します。

(2)垣下嘉徳研究員【路上の芸術 干支蓋】

2012年も早くも半年が過ぎましたが、路上の芸術の観点から本年の干支である「龍」の蓋を特集します。

(3)二上智之研究員【燈孔見聞録】

いにしえの下水道、その屈折せる場所に人孔の身代わりとして人知れず設けられた燈孔。ある時は暗闇の管渠を照らす一筋の明かりをもたらし、またある時は淀んだ管内を綺麗さっぱり洗いあげる清涼な水流を届けてもいました。「そんな健気な燈孔なら東京市以外にもきっといるはず。」と燈孔の女神様に取り憑かれた男の探蓋記。多分に自慢話。。。

(4)河岸唱平研究員【暗渠と蓋】

用途に応じて設置されるものである以上マンホールの蓋の在処には法則や傾向があります。地表に張り巡らされたネットワークである上下水道の蓋配置は、土地の勾配や地質の影響をとりわけ強く受けています。今回は「暗渠」という切り口から、天然一地形と人為一蓋とのあいだの切っても切れない関係を紹介し、加えて東京の都市開発史における両者の位置づけを概説します。

(5)森本庄治研究員【被災地のマンホール蓋を訪ねて】

東北の地には、非常に素晴らしいマンホール蓋が存在します。昨年の大震災の後1年弱が過ぎましたが、今現地の貴重なマンホール蓋がどうなっているのか？4月に現地を訪問したレポートをご報告いたします。

(6)木村桂研究員【マンホールマップと私】

マンホールマップの作者として、マンホールマップの説明、使い方から隠し機能、今後のプランなどをカジュアルに紹介します。

※ 会場内にはマンホール関連資料をご用意しました。ご自由にご覧下さい。

※ 本日の模様は後日動画投稿サイトにて公開します。お楽しみに！

開催決定

第三回マンホールナイト
11月2日 イイフタの日
都内某所にて
8月12日より予約開始

詳細は後日発表 お問い合わせは くしゃまんべ まで。
<http://ryodan.com/kmb/>